

2021（令和3）年度事業報告

（1） 研究発表会等の開催及び機関誌等の刊行による小児外科学に関する学術研究事業（定款第4条第1号）

1， 第58回日本小児外科学会学術集会を下記のとおり行った。

日時：令和3（2021）年4月28日～30日

場所：パシフィコ横浜ノース、web開催併催

参加者数：1,008名、演題数：641題

テーマ：自然の臣たるなかれ

2， 第37回日本小児外科学会秋季シンポジウムを下記のとおり行った。

日時：令和3（2021）年10月30日（土）

場所：ベルサール神田、web開催併催

参加者数：651名、演題数：27題

テーマ：再生医療と小児外科

3， 学会誌「日本小児外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行し、希望により配本した）

発行年月日	巻	号	発行部数
令和3年4月6日	57	2	200
令和3年4月20日	57	3	200
令和3年6月20日	57	4	200
令和3年8月20日	57	5	200
令和3年10月20日	57	6	200
令和3年12月20日	57	7	200
令和4年2月20日	58	1	200

4， 学会誌「Pediatric Surgery International」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行）

発行年月日	巻	号
令和3年4月1日	37	4

令和3年5月1日	37	5
令和3年6月1日	37	6
令和3年7月1日	37	7
令和3年8月1日	37	8
令和3年9月1日	37	9
令和3年10月1日	37	10
令和3年11月1日	37	11
令和3年12月1日	37	12
令和4年1月1日	38	1
令和4年2月1日	38	2
令和4年3月1日	38	3

(2) ホームページ及び市民公開講座の開催等による小児外科学に関する広報事業（定款第4条第2号）

- 1, ホームページの更新を行った。
- 2, 学会員のワークライフバランス推進に役立つ情報を発信した。

(3) 小児外科学の資格認定に関わる事業（定款第4条第3号）

- 1, 小児外科専門医制度に則り、小児外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、認定施設と教育関連施設A・Bと特定教育関連施設を指定した。
- 2, 日本専門医機構と協働して、新しい日本小児外科学会専門医制度運用の準備を進めた。

(4) 小児外科学に関する教育制度及び医療制度の調査研究事業（定款第4条第4号）

- 1, 第36回卒後教育セミナーと第11回内視鏡セミナーを開催した。

(5) 内外の関係学術団体との連絡及び提携事業（定款第4条第5号）

- 1, 日本医学会、日本医学会連合、日本外科学会、日本小児期外科系関連学会協議会、WOFAPS、他との連携を行った。

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第6号)

- ・財務の健全化に向けた検討として、準会員の増加、バナー広告の設置を行った。
- ・社会保険診療報酬に記載される小児外科関連の記載内容について検討を行い、適正な報酬体系を具現するために厚生労働省に対し必要な要請を行った。
- ・学術アンケート調査結果の公表を行った。
- ・第58回学術集会の優秀ビデオ作品の選出を行った。
- ・新生児外科全国集計に関する報告を行った。
- ・小児外科領域でのエビデンスとしての **systematic review** 論文の紹介を行った。
- ・定期学術集会において医療安全講習会を開催した。
- ・NCD 集計データの活用方法を周知するための NCD-小児外科領域会議を開催した。
- ・NCD データ及び学会保有データを利用した研究支援をおこなった。
- ・NCD 小児外科領域の術式の追加・変更を行い、これに伴って NCD-Pediatric の仕様書等のメンテナンスを施行した。
- ・NCD-Pediatric に公開中のリスクカリキュレーターのメンテナンスを施行した。
- ・NCD 小児外科領域の登録データを用いて、小児外科専門医の地域ごとの適正数を検討するための基礎的資料を作成した。
- ・学術集会において小児救急セミナーを開催した。
- ・小児外科に関する診療ガイドラインの作成を行った(腸回転異常診療ガイドライン)。
- ・学術集会においてワークライフバランスを推進することを目的とした特別企画を行った。